

令和2年度 八代高等学校シラバス

教 科	芸術	科 目	美術Ⅰ	学 年	1	類 型	選択者
単位数	2	教科書	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版）				
副教材							

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	美術とはなにか	・美術の活動の基本である創造活動の大切さを再確認し、美術への興味・関心・意欲を高める。	☐ ☐ ☐
	色彩の魅力	・色の分類や知覚の仕組みなど、色彩についての知識を身に着けるとともに、社会の中での色彩の役割を知る。	☐ ☐ ☐
	漫画の表現	・漫画表現の基礎について学び、コマ割りや表情、集中線などの工夫を模写することで学び取る。	☐ ☐ ☐
	透視図法とイメージの空間	・ルネサンス時代の名画に使用された透視図法について効果を考えながら鑑賞する。 ・透視図法のシステムや基本的な技法を習得する。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学 期	イラストレーションの魅力（ポスタリゼーション）	・表現の方法を知り、色彩等を工夫しながら作品を作り上げる。	☐ ☐ ☐
	生物を描く	・画材の特性を理解し、美しい平塗りができる。	☐ ☐ ☐
		・対象を良く観察し、色や形を忠実に再現することができる。 ・道具を安全に使用することができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学 期	暮らしの中の「使う」デザイン	・道具を安全に使用することができる。 ・社会の中の美術について感じ取ることができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	アニメーションの手法	・アニメーションの原理を知り、絵や立体の形・色の変化や動きの面白さを生かした表現をする。	☐ ☐ ☐

学習方法	○作品制作では、習得した知識や技能を使い効果的に生かしてください。また、自分の純粋な発想を大切に、計画的に制作を進め、見通しを持って取り組んでください。 ○鑑賞では、作者の思いや意図・工夫点を感じ取り、さまざまな価値観に気づき得る寛容さを養いましょう。さらには、自らの作品作りへと生かし、発展させていきましょう。
------	---

評価方法	①関心・意欲・態度 ②発想や構想の能力 ③創造的な技能 ④鑑賞の能力 の4つの観点より評価を行っていきます。題材によっては、2つの観点や3つの観点からのみ評価を行う場合もあります。
------	--